

ホームページ
株主・投資家情報のご紹介

弊社の最新・詳細情報は
ウェブサイトよりご覧いただけます。



◆ 株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

[ホームページアドレス](https://www.hibiya-eng.co.jp/)

<https://www.hibiya-eng.co.jp/>

株主名簿管理人/
特別口座の
口座管理機関/
同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部

(問い合わせ先)

東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (電話料無料)

(郵便物送付先)

〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

各種手続のご連絡

- 未払配当金のお支払について
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。
お支払期限は定款の定めにより支払開始日から3年となっております。
- 単元未満株式(100株未満)をご所有の株主様
下記の制度をご利用いただけます。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。
 - ・ 買い取り制度：単元未満株式を当社に売却する。
 - ・ 買い増し制度：単元(100株)にするため不足する株式を当社より購入する。
- 住所変更、配当金受取方法変更について
＜証券会社に口座をお持ちの株主様＞
ご利用の証券会社へお問い合わせください。
＜特別口座(特別口座へ記録されている)の株主様＞
口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。
特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでもお受けいたします。

https://safe.tr.mufg.jp/cgi-bin/daikou/youshi_01.cgi



時代にまっすぐ、
技術にまっすぐです。

第60期 IR通信 株主・投資家の皆様へ
2024年4月1日から2025年3月31日まで



目次

ごあいさつ	1
事業報告	2
特集：データセンターへの取り組み	3-4
当期の主な完成物件	5-6
財務ハイライト	7-8
株式の状況	9
役員／会社概要	10

※ご注意
本誌には、将来の業績予想などに関する記述が含まれて
います。こうした記述は将来の業績を保証するものでは
なくリスクと不確実性を内包するものです。将来の業績
は、経営環境の変化等に伴い、本誌の予想数値とは異なる
可能性があります。

株主・投資家の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当期の決算業績報告(2024年4月1日～2025年3月31日)をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

情報通信社会の多様化、高度化が進み、様々なDX^{*1}の取り組みが進展しています。生成AIの活用も拡大し始め、これらに対応する情報通信基盤の整備が、スピード感をもって求められています。中でもデータセンターに関しては、その必要性が増大し多くの建設計画が策定されています。一方で、これらの施設を支える電力供給網の確保やグリーン化といった新たな課題も出てきているところです。

このような状況のもと、当社グループは、これまで培った情報通信分野の経験を活かし、データセンター分野を注力領域として取り組んでおります。このために、「Data Center Trial Field」というオープンイノベーションの場を開設いたしました。また、リニューアル工事に関しても、ZEB^{*2}等の付加価値を加えた新たな展開に挑んでいるところです。

これらの取り組みにより、2025年3月期におきましては、増収増益を達成するとともに、その前年度から継続して多くの手持ち工事を確保することができました。これらは、今後の安定した事業運営、拡大につながるものであり、第8次中期経営計画の最終年度を迎える2026年3月期の業績予想を上方修正いたしました。

事業環境の変化に対応しつつ、お客様に寄り添い、多様な社会課題の解決に取り組み、そして技術を磨き続けることで、企業価値の最大化を目指してまいります。

皆様方におかれましては、今後とも当社グループへのご理解とご支援を賜りますよう、何とぞ宜しく申し上げます。

※1 DX：デジタルトランスフォーメーションの略
※2 ZEB(ゼブ)：ネット・ゼロ・エネルギービル

代表取締役社長 **中北英寿**

2025年3月期 業績等

受注高	936億55百万円 (前年同期比: 11.3%減)
売上高	897億86百万円 (前年同期比: 7.2%増)
営業利益	74億56百万円 (前年同期比: 30.0%増)
親会社株主に帰属する 当期純利益	59億 6百万円 (前年同期比: 23.0%増)

配当・株主還元施策

2025年3月期 実施状況

株主配当金

利益水準の拡大に伴い、期末配当を当初業績予想の1株当たり44円から50円(+6円)に増配し、年間配当94円を実施

2026年3月期 計画

基本方針

中長期的な利益の成長に合わせ、安定的・継続的に維持・拡大することを目指す

株主配当金

中間・期末ともに1株当たり50円とし、年間配当は6円増配の100円を予想

自己株式取得

取得枠は60万株/21.0億円を上限とし、投資機会や株価水準、また、投資効率の観点も踏まえつつ、機動的・弾力的に実施

第8次中期経営計画(2023.4~2026.3)

■ 基本方針

コア事業を深める

営業・技術基盤の強化と深化、経営資源の最適配分による収益力向上

事業領域を広げる

イノベーションによる成長領域の拡大

経営基盤を高める

人材マネジメントの充実による人的資本の価値向上

ESG経営

サステナビリティ経営推進による社会価値の創造

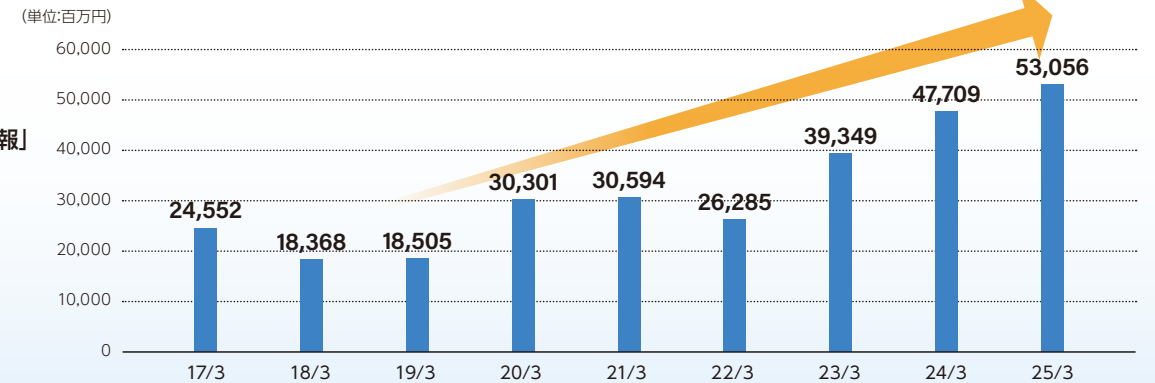
■ 主要業績目標(連結) 2026年3月期(最終年度)

	第8次 中期経営計画 2023.5/11発表	2026年3月期 連結業績予想 2025.5/13発表
受注高	910億円	955億円
売上高	905億円	935億円
営業利益	65億円	78億円
親会社株主に 帰属する当期純利益	48億円	60億円
ROE	7.0%以上	8.4%

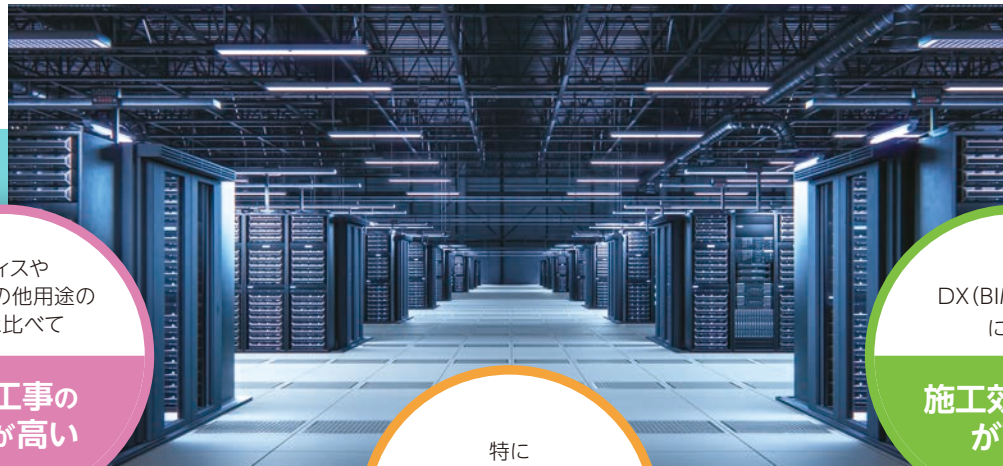
当社はデータセンター領域に注力しております。

クラウド化や生成AIの活用進展により、首都圏、関西エリアを中心に大型化するデータセンターの建設が拡大しており、当面は旺盛な建設需要が続くことが見込まれています。

当社
「データセンター/情報」
の受注実績



》 データセンター工事の特徴



オフィスや
ホテル等の他用途の
建物と比べて

設備工事の
割合が高い

DX(BIM活用等)
により

施工効率化^{※2}
が可能

特に
フィットアウト^{※1}工程は

仕様が明確で
短工期の
工事が可能

※1: 建物の内部を使用可能な状態に仕上げる工事をフィットアウトといいます。一方、建物の基本構造を仕上げる工事をコア&シェルといいます。
※2: ユニット工法・フロントローディングによる施工効率化



当社グループの強み

通信建物の施工で培ったノウハウ・経験値を活用



受注戦略 ①

データセンターチームを組成し、
施主やゼネコン、設計事務所に加
えて、データセンター事業者にも
アプローチ



受注戦略 ②

手持ち工事の水準や施工能力、
採算性を見極めつつ、大型デー
タセンターの受注を推進



凡例 ▶▶ 1 所在地 2 延床面積 3 規模 4 当社施工

データセンター (首都圏) データセンター



4 空調・衛生

※ 1 ~ 3 については、守秘義務があるため紹介を控えさせていただきます。

渋谷アクシユ 複合開発



1 東京都渋谷区 3 地上23階/地下3階
2 44,540.95㎡ 4 衛生

虎ノ門アルセアタワー 複合開発



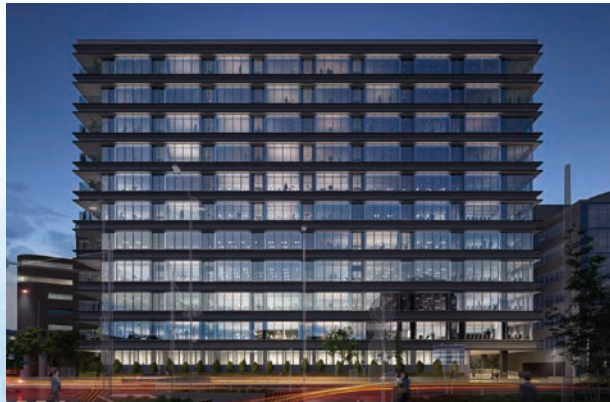
1 東京都港区 3 地上38階/地下2階/塔屋2階
2 180,611㎡ 4 電気

柏厚生総合病院 新館 ヘルスケア



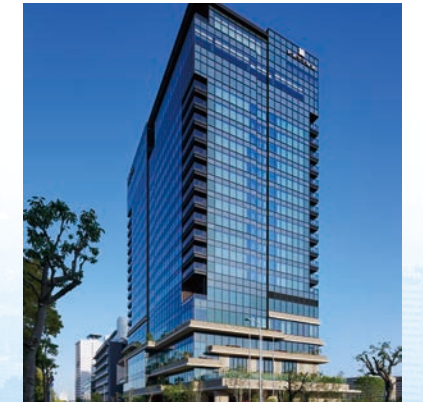
1 千葉県柏市 3 地上5階
2 6,693.18㎡ 4 電気

みずほ中目黒スクエア オフィス



1 東京都目黒区 3 地上11階/地下1階
2 40,527㎡ 4 衛生

パティナー大阪 ホテル

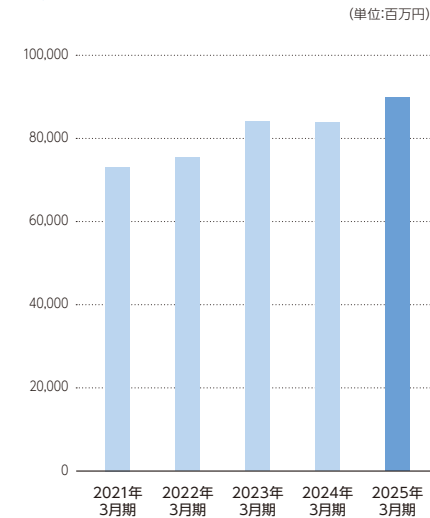


1 大阪府大阪市 3 地上20階/地下3階/塔屋2階
2 38,940㎡ 4 空調・衛生

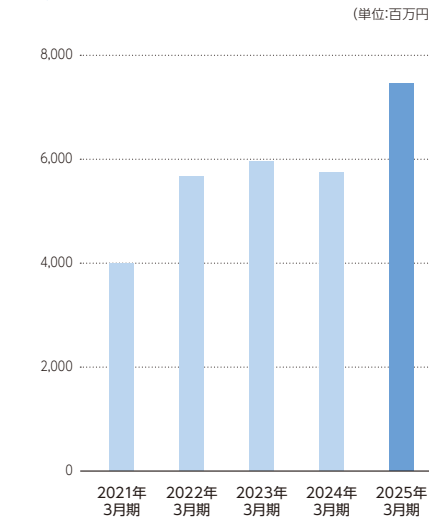
(単位:百万円)

	第59期 2024年3月期	第60期 2025年3月期	前年同期比 増減額
売上高	83,762	89,786	+ 6,023
売上総利益	14,903	17,266	+ 2,362
営業利益	5,737	7,456	+ 1,718
経常利益	6,446	8,138	+ 1,691
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,800	5,906	+ 1,106
純資産	69,914	71,684	+ 1,769
総資産	98,226	99,915	+ 1,689
自己資本比率(%)	70.0	70.6	+ 0.6
従業員数(人)	966	975	+ 9

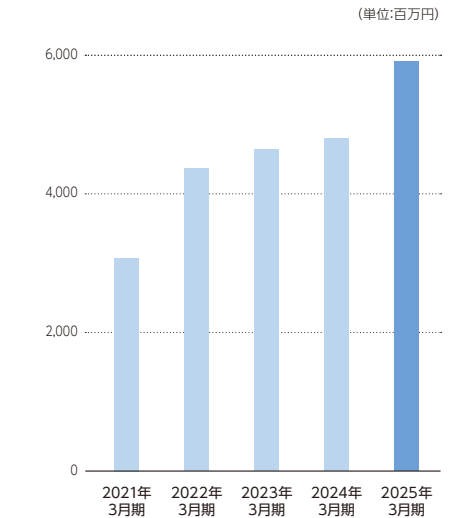
売上高



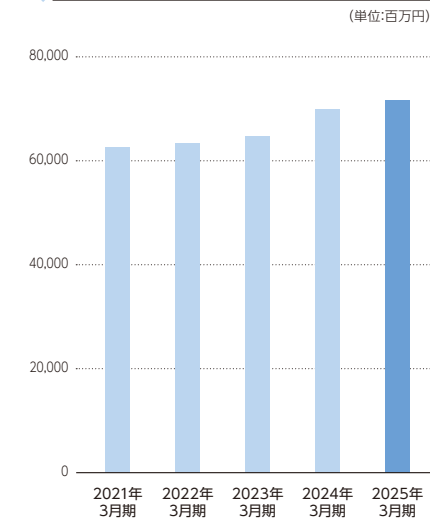
営業利益



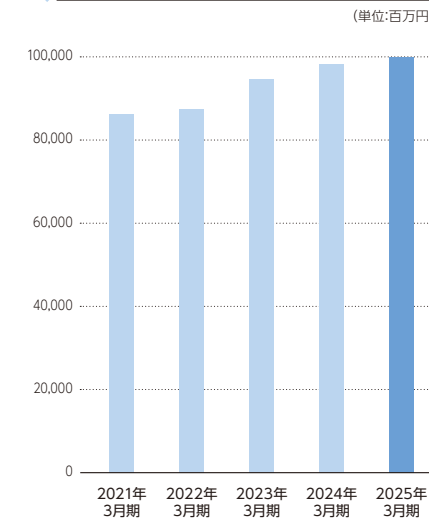
親会社株主に帰属する当期純利益



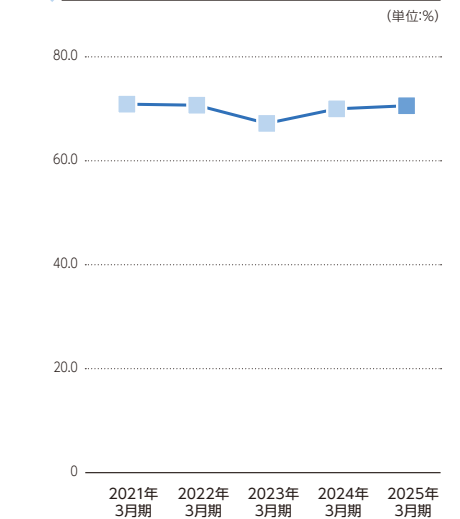
純資産



総資産



自己資本比率(%)



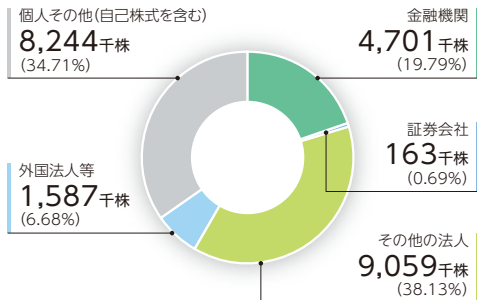
- 発行する株式の総数 96,500,000株
- 発行済株式の総数 23,756,321株
- 株主数 3,627名

大株主の状況

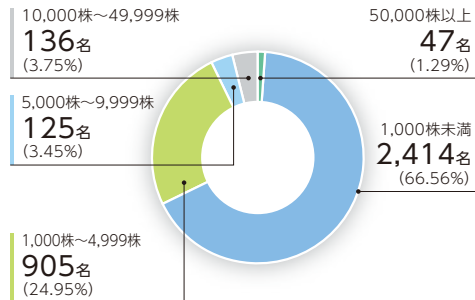
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,999	9.04
光通信株式会社	1,453	6.57
日比谷総合設備取引先持株会	1,389	6.28
エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社	920	4.16
住友不動産株式会社	920	4.16
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・株式会社百十四銀行口)	900	4.07
日比谷総合設備従業員持株会	817	3.70
一般社団法人電気通信共済会	698	3.16
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	670	3.03
共立建設株式会社	594	2.69

(注) 持株比率は、自己株式1,122千株を控除して計算しております。
 なお、自己株式には業績連動型株式報酬制度(役員報酬BIP信託)により当該信託が保有する当社株式は含まれておりません。

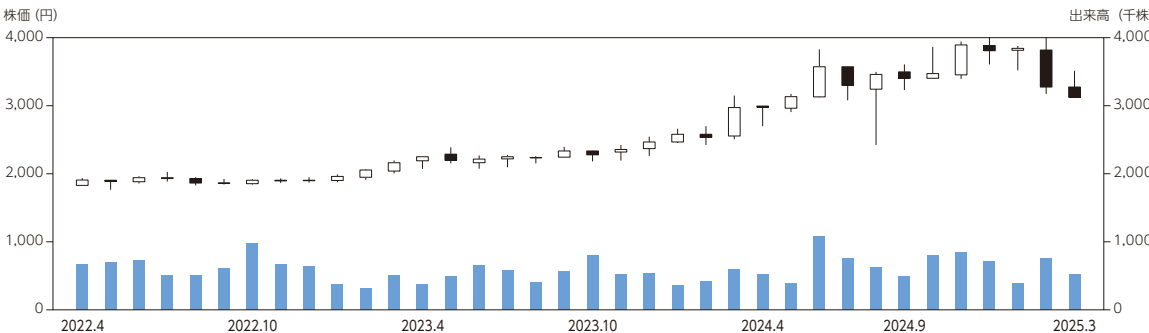
所有者別株式分布状況



所有株式数別分布状況



株価および出来高の推移



取締役及び監査役

代表取締役社長	社長執行役員	中北 英孝
代表取締役副社長	副社長執行役員	芦川 隆範
取締役	常務執行役員	享保 裕彦
取締役	上席執行役員	堀 泰彰
取締役	上席執行役員	荒井 泰徳
取締役	上席執行役員	金子 昌史
取締役		橋本 誠一
取締役		大砂 雅子
取締役		大串 淳子
常勤監査役		川島 高博
常勤監査役		阿部 宏
監査役		原田 昌平
監査役		佐藤 啓孝

(注) 1. 取締役 橋本 誠一、大砂 雅子、大串淳子は社外取締役であります。
 2. 監査役 川島 高博、原田昌平、佐藤 啓孝は社外監査役であります。
 3. 取締役 橋本 誠一、大砂 雅子、大串淳子及び監査役 川島 高博、原田 昌平、佐藤 啓孝につきましては、東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。

執行役員

上席執行役員	豊田 忠之
上席執行役員	井上 浩一
上席執行役員	高野 貴義
執行役員	三輪 恭久
執行役員	土門 暁
執行役員	坂口 照彦
執行役員	荒川 忠士
執行役員	太田 孝
執行役員	大塚 光雄
執行役員	堀内 好夫
執行役員	嶋村 克久
執行役員	木下 学※

※2025年7月1日就任予定

商号：日比谷総合設備株式会社
 Hibiya Engineering, Ltd.

設立年月日：1966年3月9日

資本金：57億53百万円

株式：東京証券取引所プライム市場

従業員数：個別 815名 連結 975名

- 事業内容：(1) 空調調整装置工事
 (2) 電気設備工事並びに通信設備工事
 (3) 給排水その他衛生設備工事
 (4) 建築並びに土木の設計及び工事
 (5) 建築設備、環境衛生関係機器の製造及び販売
 (6) 建築物、建築設備の保守管理、警備及び清掃業務
 (7) 建物セキュリティシステムの開発、設計、施工、販売及び保守
 (8) 前各号に関するコンサルティング業務
 (9) 前各号に付帯する事業

建設業許可：国土交通大臣許可(特-2)第3931号
 管工事業、電気工事業、電気通信工事業、水道施設工事業、建築工事業、土木工事業、ほ装工事業、とび・土工工事業、消防施設工事業

一級建築士事務所：東京都知事登録第28260号

事業所：

本社 東京都港区三田三丁目5番27号

東京本店 東京都港区芝浦三丁目4番1号

支店 北海道、東北、横浜、東海、北陸、関西、中国、四国、九州、沖縄

営業所 函館、岩手、新潟、富山、長野、茨城、北関東、千葉、静岡、神戸、岡山、熊本、鹿児島

研究施設 千葉県野田市